

## 武生高等女学校校歌

御歌所寄人 鳥野幸次先生校閲

作詞 清水政之

- 一、男大迹の皇子のおはしけむ  
ゆかりたふとき道の口  
武生の国府と名に立ちて  
文化の花も先づ咲きし  
昔の跡に開けたる  
まなびの園の名もよしや
- 二、忠義に燃ゆる杉山の  
紅葉の色をかざしにて  
越前富士に積む雪の  
清きを己が心にて  
日野の川波絶えずのみ  
勉め励まんいざやいざ
- 三、後の宮の詠みましし  
御歌の意かしこみて  
人の中にもをみなたる  
道の誠をみがきつつ  
家を身をもととのへて  
千代の鏡と仰がれむ

## 福井県立武生高等学校校歌

作詞 佐藤春夫

作曲 大中寅二

- 一、都に遠く雲閉す  
日野の盆地と云ふ勿れ  
山河穢れず人怜く  
若人の夢みな清し
- 二、武生の国府とつたはれし  
代々の文化のあとを見よ  
史上に残る名に富むを  
郷土のほまれ誰か継ぐ
- 三、味真野の子や丹生の子の  
学びに集ふ二千人  
校舎あかるく庭ひろく  
朋友師弟 睦しき
- 四、いかに生くと人間はば  
我は明朗自律の児  
まことを求め道に生き  
世に尽さんと答へまし